姫戸中学校　学校便り　令和２年７月１０日　　令和２年度　第８号

朝(あした)あかね

文責　校長　切通　努

日曜参観を行いました。



命を大切にする心を育む授業の一環として全学級「特別の教科道徳」の公開授業を行いました。１年生は、漫画家のみつはしちかこさんの詩を教材に、自分らしく生きることの素晴らしさの学習でした。生き方を丸ごと肯定するような素敵な詩でした。２年生は、日航ジャンボ機墜落で娘さんを亡くされたお母さんが､娘さんの隣の席の方のご遺族にお礼の手紙を書かれたという実話を教材に思いやって生きていくことの素晴らしさを考えました。３年生は、出産はお母さんだけががんばってできるのではなく、赤ちゃんも必死の力で生まれてくるという内容でした。どの授業も命の大切さを考えることができていました。学級懇談も大変お世話になりました。

あなたはひかり
　みつはしちかこ
そのままの
あなたが好きよ
自分の弱さと
戦いながら
ころんだり
傷ついたり
不器用に生きている
あなたが
　がんばって
　がんばって
あなたの中に
あたしをみつける

人は
みっともないから
可愛いと思う
恥をかくから
あったかいと思う

好きなものを
だいじにして
　あきらめないで
　捨てないで

あなたはひかり
輝く地球の一粒の
ひかり

７．６ひめどつなぐ集会





４８年前の天草大水害をふるさとの歴史として未来に引継ぎ、立ちあがって復興を果たされたたくましさに学び、さらには防災意識を向上するために､「７．６天草大水害ひめど『つなぐ』集会」を行いました。３人の当時を知る方々に来ていただきました。地域学校協働活動推進員の竹本健朗さんをコーディネーターとして会を進めました。竹本さんは防災のことについて詳しくお話しいただきました。平田実さんは、姫戸小牟田分校の６年生だった当時の生々しい体験を話していただきました。ご自身も濁流に流され、九死に一生を得られました。木造校舎の床が

アルミ缶回収常時受付中。中学校校門はいって左の円塔へ。回収ご希望は学校まで連絡を。58-2503 学校

裏面へ続く

大きく、わん曲し盛り上がってくるなどの現象があり、避難後校舎が流されてしまったことも教えていただきました。細木隆広さんは当時ヤマハ工場にお勤めで、同僚の方も犠牲になられました。ご自身も濁流に飲まれ流され、九死に一生を得られました。家も跡形もなく流されたそうです。皆様が、助かった命だからこそ大切にしなければならないとおっしゃり、現在お孫さんがいらっしゃることに感謝しておられました。だから、何よりも自分の命を大切にした行動をしなければならないこと、余裕があれば人を助ける行動ができると素晴らしいことを言われました。また、「生きる力」をつけること、そのためには毎日の授業や行事、生徒会や掃除、スポーツなど目の前のことにしっかりと取り組むことが大切だと教えていただきました。

つなぐ集会での校長あいさつより

今日お話しいただくことを昔の話として聞くのではなく、現在、そして未来の自分のために、家族のために、ふるさとのためにしっかり聞いてほしいと思います。そして、姫戸に生まれ育った皆さんだからこそ、しっかりと受け継いでほしいと願っています。

現在、球磨川流域の皆さんをはじめ被災された方は、大変きつい思いをされています。犠牲になられた方も多くおられます。命からがら助かった方や、おうちや職場が被災して途方に暮れておられる人も多数おられます。同じ中学生の仲間で被災している生徒の皆さんも多くいます。私は人吉の学校に勤務したことがあり６年間住んでいましたので大変な目にあわれている知り合いの方々が多くいらっしゃいます。決して人ごとではありません。いま、自分にできることはなにか、どんな生き方をすれば良いのかなども考えながら参加してほしいと思います。

つなぐ集会後の生徒の感想より

・とても大きな被害が姫戸で起こり広い範囲の被害だったと分かりました。とても恐ろしいと実感しました。避難場所を決めるなどの備えをしっかりしておきたいです。（３年まさと君）

・平田さんがおっしゃった自分の命を守る力をつけていこうと思いました。そのために、いつも自分で考えて行動できる力をつけていきたいです。（３年こうた君）

・災害が起こった時に臨機応変に行動できるようにしておきたいです。こういうときこそ協力することが大切と学びました。（３年あすま君）